

1次・2次評価結果

国際戦略総合特別区域

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計 点数	1. 専門家評価					⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相当程度寄与することが見込まれるか	⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリン グ 対象
						①包括 的・戦略 的な政策 課題の設 定	②包括 的・戦略 的・整合 的な解決 策の設定	③地域資 源等の存 在	④先駆性	⑤熟度			(1)総合 特区によ り実現を 図る目標 の提案	(3)地域 の責任あ る関与 ①～⑤	(4)明確 な運営母 体 ②	
国際	1	群馬がん治療技術国際戦略総合特区	群馬県	ライフ・イノベーション (健康大国)	22.29	B (3)	C (2.43)	C (2.29)	B (3)	B (2.57)	<p>・がん治療については、他の地域でも種々の試みが行われており、それぞれの地域の取組を奨励促進するのは重要であるが、一カ所を特別に重視する国際戦略特区に指定するには疑問がある。</p> <p>・超高齢化社会に突入する日本の課題を解決する社会仕組みの構築として、国内の市場に加えてアジアをはじめとする国際市場への展開による持続的な成長戦略となることが期待される。</p> <p>・放射線によるがん治療の成功はわが国のみならず国際的にも影響が大きい。</p> <p>・目標が仮に達成されれば、医療技術の進歩をもたらす。さらにその便益をアジア全体に及ぼすことになり、相当程度寄与する事が期待される。</p> <p>・本プログラムは、その活動が医療に限定されておらず、産業・経済の側面を広く包含し、かつその範囲は国内、国外に及ぶ幅広いものである。このプログラムの成功は、我が国の経済社会の活性化に寄与するところが大きいと判断される。</p> <p>・経済効果は限定的。</p> <p>・治療技術の開発と高度化／関連人材の育成／関連製造業ならびにサービス業の発展それぞれについて目標が示されており、達成されればハード・ソフト両面にわたる発展が期待できる。できれば海外への展開のインパクトがより明確に示されれば良かったと思う。</p>	<p>・がん治療の研究について各地が取り組んでおり優位性が極めて高いとは言えない。</p> <p>・放射線医学国際人材育成センターを中核とする仕組みの、実現性についての説明を見て判断したい。</p> <p>・この点に関してはかなり疑問である。</p> <p>・目標達成の蓋然性は、上に述べたように地域資源等の偏在や熟度の不足等によって極めて難しいと言わざるを得ない。</p> <p>・よく練られた計画であるので実現可能性は高く、地域活性化を含む多くの課題解決に成果をあげるものと推測される。</p> <p>・実現可能性は低い。</p> <p>・個別プロジェクトの将来性と具体的目標、現時点での状況については、前回より具体的に記された箇所が多く、改善されていると判断した。</p>	B (3)	A (4)	C (2)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：グリーン・イノベーション（環境・エネルギー大国）

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計点数	1. 専門家評価						⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリング対象
						①包括的・戦略的な政策課題の設定	②包括的・戦略的・整合的な解決策の設定	③地域資源等の存在	④先駆性	⑤熟度	⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相当程度寄与することが見込まれるか		(1) 総合特区により実現を図る目標の提案	(3) 地域の責任ある関与	(4) 明確な運営母体	
地域	8	周南コンビナート国際競争力基盤(電力・港湾)強化総合特区	山口県周南市	グリーン・イノベーション(環境・エネルギー大国)／アジア拠点化、国際物流／まちづくり等	22	B (3.00)	B (3.25)	A (3.50)	B (3.00)	C (2.25)	<p>・地域活性化、我が国の社会経済の活力向上、および持続的発展に相当程度寄与することが見込まれる。</p> <p>・グリーン観点から評価すべき共同火力発電へのリプレースによるCO2排出量の削減、電解コンビナートでの総合熱効率60%の電力・蒸気の比率、将来のバイオマス混焼・複製水素の利用可能量などポテンシャルが示されており、熟度は認められないが、石炭火力を中心としたコンビナートで電力の安価な供給が達成できるなら、地域の産業の振興、経済の活性化には相当の寄与があると考えられる。</p> <p>・本事業において強化しようとする対象が、我が国の幅広い産業や生活を支える基礎素材の生産拠点である点、また現時点で優れた競争力を有しているものの東アジア近隣諸国における競合する生産拠点の台頭が著しい点、に鑑み、目標達成が我が国の経済社会の活力向上や持続的発展への寄与は大きい(逆に競争力低下による、直接的、間接的マイナス波及効果は我が国の産業社会全体に及ぶ恐れがある)と見込まれる。</p> <p>・国内の産業拠点の集中と選択が必要となっており、地域エネルギー事業、基幹製造業機能、港湾機能、連携する市街機能を束ねる興味深い提案となっており、実現により、産業都市の再活性化のモデルとなることが期待できる。</p>	<p>・蓋然性が高く、政策課題の解決に相当程度有効、かつ先駆的で実現可能性が高い。</p> <p>・石炭利用コンビナートの拡大は、今後原子力が伸びない状況では安価なエネルギーとして当面は重要な課題であり、蓋然性は高い。</p> <p>・数値目標設定は、これまでの実績や計画、他事例との比較をふまえて設定されており、設定の根拠は明確である。本取り組みは政策課題の解決に直結するものであるため、有効であり、全国初の取り組みとあり、先駆的である。</p> <p>一方で、目標達成のためには本事業の柱である共同火力発電のリプレースを含めた発電機能のベストミックスを段階的に図ることが前提であり、そのために必要な規制緩和が多岐に及び、関係者間での多くの調整、連携が必要になる。全国初の取り組みであるがゆえに、目標達成へ向けて不確実な要素も大きいのではないかと。</p> <p>・地域エネルギー事業、港湾事業に対して地元の民間投資投入についての準備によって事業の蓋然性が規定される。</p>	B (3)	C (2)	C (2)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：ライフ・イノベーション（健康大国）

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計点数	1. 専門家評価						⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリング対象
						①包括的・戦略的な政策課題の設定	②包括的・戦略的・整合的な解決策の設定	③地域資源等の存在	④先駆性	⑤熟度	⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相当程度寄与することが見込まれるか		(1)総合特区により実現を図る目標の提案	(3)地域の責任ある関与	(4)明確な運営母体	
												①～⑤	②			
地域	5	地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区	滋賀県	ライフ・イノベーション(健康大国)	20.6	B (2.60)	C (2.20)	C (2.20)	C (2.20)	C (2.40)	<p>・健康長寿の延伸には生活習慣病の予防が最も効果的な方策であり、食や運動を主とするライフスタイルの改善が奨励されてきたが、目標達成への道のりは遠い。ライフスタイル改善の始動ドライバーとしては検査数値が最も説得力があり、効果的であると言われているが、受検率は高くない。小型で簡易な超微量多項目血液検査装置の開発と薬局などを含む多くの場所で気軽に利用できる血液検査サービスの提供は、生活習慣病の予防の促進に大きく貢献すると思われる。ニーズは日本に留まらないので、事業化すれば、地域経済の活性化のみならず、国の経済成長への貢献も期待できる。</p> <p>・理念はわかるが、具体的方法との間にかい離がある</p> <p>・治療から予防への転換という方向性は評価できるが、医療・健康関連機器の開発と地域や住民への成果とのつながりをもう少し示せないか。</p> <p>・目標を達成すれば、生活習慣改善や特定保健指導のモデルケースとして当該地域だけでなく、その他地域への幅広い適用も期待できる。</p> <p>・特定健診受診率の向上が得られないと経済社会の活力向上は見込めない。</p>	<p>・健康管理機器の開発から、それを活用した健康支援サービスの提供という目標達成への筋道が明確、具体的であり、産学官民の連携体制も整っている。目標達成の蓋然性は高いと思われる。</p> <p>・人的ソースを考えると実効性は低い</p> <p>・健診に関する支援の強化の重要性は認められる一方、事業と課題解決をつなぐ道筋がいまひとつ不明確。</p> <p>・特色ある大学・研究機関と医工連携ネットワークの存在、医師会、薬剤師会の関与など関係者の合意形成が図られており、解決策実行の蓋然性は高いと評価する。</p> <p>・実現可能性は低いと思われる。</p>	B (3)	A (4)	C (2)	○
地域	1	群馬がん治療技術地域活性化総合特区	群馬県	ライフ・イノベーション(健康大国)	19.8	B (2.80)	C (2.00)	C (2.00)	C (2.40)	C (1.60)	<p>・開発途上国を含めて高齢化が著しく、医療産業は高い市場の伸びが予想される。死亡原因の上位(日本では1位)を占めるがん対策は人類共通の課題である。本提案のめざす革新的な医療技術は患者にやさしく、比較的到低コストながん治療が可能となるため、社会への貢献度は高い。更なる技術的な高度化と積極的な世界への展開は地域経済の活性化と共に、国の経済成長に寄与する可能性を有している。</p> <p>・重粒子線の先駆性は高いが、経済効果は限定的 様々な項目で財政支援を求めており、ポイントが絞られていない</p> <p>・重粒子線治療を中心とする研究部門の意義は認められるが、企業部門への波及や観光への効果が必ずしも明確でない。</p> <p>・重粒子線治療はわが国が有する先端的な技術であり、その更なる高度化とそれを支える人材育成、がん治療への適応は広く、単に当該地域の活性化だけでなく国民全体の福祉に資する。</p> <p>一方で、国内外からの集患については技術的特異性、優位性だけでなく、受入機関のスタッフ、(空き)病床数に大きく左右されるため、現状では地域活性化につながるほどの規模での集患が可能かは疑問がある。</p> <p>・既存の放射線治療や全身化学療法の対象患者の大半が重粒子線治療の対象となれば、経済社会の活力の向上および持続的発展に寄与できるが、既存の放射線治療の対象者からの移行は充分な実績がなく、既存の放射線治療装置もICTの発達と共に進歩が著しく、患者の移行は今後も多くは望めない。</p> <p>全身化学療法の対象者は局所療法である重粒子線治療はあくまで補助的な役割しか果たせないで、より安価な既存の放射線治療からの移行は望めない。</p> <p>また、医療ツーリズムの対象は健康診断が主な対象で、治療対象者はおなじ治療効果が得られ、かつ、より安価である国が盛んであることは明らかである。</p>	<p>・がん治療技術に関しては先駆的であり、技術の更なる高度化と臨床展開の実現性は高いが、地域資源の制約もあり、産業化、国際化に関しては目標達成の蓋然性が定かでない。</p> <p>・目標を達成する可能性は低い</p> <p>・⑥で指摘した問題点が残るが、事業の戦略的・社会的意義は認められる。</p> <p>・事業案の核となる重粒子線を保有する大学と、治療技術開発や部品・周辺機器開発を担う域内企業とに築かれたこれまでの協力・連携関係の「熟度」や「これまでの成果」は必ずしも明確ではなく、有機的な連携関係構築や成果達成の蓋然性についてやや疑問も残る。</p> <p>・重粒子線治療装置の輸出は政策課題の解決につながるが、同時に、海外患者の国内への訪問は減少させるので、目標達成が相殺されることを考慮しておく必要がある。</p> <p>重粒子線治療以外の解決策は先駆的解決策ではない。</p> <p>また、重粒子線と他の計画との関連性が乏しい。</p>	B (3)	A (4)	C (2)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：アジア拠点化・国際物流

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計 点数	1. 専門家評価					⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相当程度寄与することが見込まれるか	⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリング 対象
						①包括 的・戦略 的な政策 課題の設 定	②包括 的・戦略 的・整合 的な解決 策の設定	③地域資 源等の存 在	④先駆性	⑤熟度			(1)総合 特区によ り実現を 図る目標 の提案	(3)地域 の責任あ る関与 ①～⑤	(4)明確 な運営母 体 ②	
地域	8	周南コンビナート国際競争力基盤(電力・港湾)強化総合特区	山口県周南市	グリーン・イノベーション(環境・エネルギー大国)／アジア拠点化、国際物流／まちづくり等	19	C (2.25)	B (2.50)	B (3.00)	C (2.00)	C (2.25)	<p>・徳山下松港への大型船舶受入れ対応整備事業の完遂は、石炭資源調達コストの削減に寄与し、周南市の企業のみならず、日本全体の産業界におけるエネルギー調達コスト削減の一端としては寄与できると考えられる。</p> <p>・アジア側の大型化・効率化の背景にはアジア市場全体の需要拡大があり、このままではジリ貧だからテコ入れ、というだけで規模の競争に参加しても持続性はないであろう。アジアとの分業関係、差別化という視点が必要なのではないか。</p> <p>・周南市にプラスの効果が見込めることは伺えるが、その効果の他地域への波及についてはやや疑問が残る。</p> <p>・わが国の東アジアにおけるサプライチェーンネットワークで占める地位の向上に十分にインパクトがあると期待できる。</p>	<p>・徳山下松港の整備による石炭調達コストの削減のみでは、日本の産業界におけるエネルギー調達コスト削減の一端としては寄与したとしても、周南地域における新事業の確立や新たな雇用の創出には必ずしも繋がらず、まちの活性化にも大きく寄与できないならば、本来の事業目的の解決には至らない。</p> <p>・地域の生産拠点としての意義は理解できるが、空洞化の食い止め、災害に強いまち造り、などは直接に関連しているとは思えず、他方、岡山コンビナートとの差別化は記述されているが、本計画が九州など経済圏全体で周南に集約されるべき必然性、蓋然性が必ずしも説得的に記述されているとはいえない。</p> <p>・定性的な目標(事業内容の目標)では雇用や投資が強調されているが、数値目標は主にコスト削減である。両者の関係について説明が欲しい。また、関係者間の合意形成が調っているかどうか、企業側からどのようなニーズが上がっているのかについて、より具体的、かつ明確な説明が欲しい。</p> <p>・地域資源の積極利用を行っている点で極めて実効性が高いと判断される。</p>	B (3)	C (2)	C (2)	○
地域	6	京都クロスメディア・コンテンツ産業特区(Creative KYOTO)	京都府、京都市	アジア拠点化、国際物流	18.5	B (2.50)	C (2.25)	B (2.50)	C (2.00)	C (2.25)	<p>・京都府内での経済効果として、H21年時点の9990億円がH29年時点で1兆8500億円まで成長すると試算されており、地域活性化には寄与するものと想像するが、新産業の創出という観点においてはインパクトが小さく新鮮味に欠ける。世界のコンテンツ市場の獲得を目指す目標に掲げられているが、そのためには、企画・製作力を強化するための人材育成と共に新産業創出なども重要だが、地域で開発したコンテンツの成果物を海外に輸出し、海外市場での収益拡大を図る等の、更に積極的な施策が必要であると考え。</p> <p>海外市場での収益拡大等を図る上では、製作したコンテンツの流通・販売の仕組みを明確にイメージし形成する必要がある。例えば、グローバル配信ポータルサイトの構築や、逸失利益対策など海外展開における知財管理強化の施策などに着目してゆくことが良いと考える。</p> <p>・日本のアニメが高い評価を有してきたのは事実だが、コンテンツ産業は各国が育成に動いており、競争がますます激化しており、収益性の確保という点では容易でなくなっている。立地競争力に力点を置いた支援によって差別化がなされること、コンテンツの制作のみならずどうやって売るのか、のビジネス機能が備わらないと行き詰まるのではないか。</p> <p>・京都市にプラスの効果が見込めることは伺えるが、その効果の他地域への波及についてはやや疑問が残る。</p> <p>・特に期待できない。</p>	<p>・京都府が目標として掲げる経済効果と人材育成の点では数値目標の達成が可能ではないかと考える。但し可能であれば、出来る限り国や自治体の予算に頼るのではなく、民間企業の知見と活力を活かし、海外市場への輸出振興など率先して行える仕組みを構築すれば、更に素晴らしい成果が得られるものと考え。</p> <p>・取組はそれなりに具体的で有効だと考えられるが、例えば相当に大きな動画その他の情報やりとりに必要な拠点間のITインフラ整備、知財防衛戦略、ファイナンスの関連などにも目配りが必須とみられる。特に集積が大きくなればなるほど、人の移動に伴う情報流出は必然で知財防衛がないと集積させることの意味は乏しくなってしまうのではないかと。また、推進母体がどこになるのか、前回示された課題について改善が見いだせなかった。</p> <p>・関係者間の合意形成が調っているかどうか、また企業側からどのようなニーズが上がっているのかについて、より具体的、かつ明確な説明が欲しい。</p> <p>・特に評価できるものではない。</p>	B (3)	C (2)	C (2)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：観光立国・地域活性化（観光等）

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計 点数	1. 専門家評価					⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相 当程度寄与することが見込まれるか	⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む 取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高い ものか	2. 事務局評価			ヒアリン グ 対象
						①包括 的・戦略 的な政策 課題の設 定	②包括 的・戦略 的・整合 的な解決 策の設定	③地域資 源等の存 在	④先駆性	⑤熟度			(1)総合 特区によ り実現を 図る目標 の提案	(3)地域 の責任あ る関与 ①～⑤	(4)明確 な運営母 体 ②	
地域	7	奈良公園観光地域活性化総合特区	奈良県	観光立国・地域活性化(観光)	20.4	B (2.80)	B (2.60)	A (3.60)	C (2.20)	C (2.20)	<ul style="list-style-type: none"> 古都の魅力を維持していくために必要で重要性の高い事業であることは認められるが、地域の経済社会的活力向上への寄与という面では、インパクトは中程度 インバウンド、低迷するF1層の取り込みなどが実績からも期待できる関西空港を中心とするエリアの滞在時間の延長に活躍できる 価値の高い観光資源を多く有する本対象区域の取り組みを高いレベルで推進することは、日本各地の観光地にもいい影響を与える。 本取組は奈良公園のイメージアップに寄与し、観光をおとした地域の活性化に一定程度、資するものである。奈良公園の観光利用を持続的なものとし、さらに宿泊施設等の改修が進展することによって経済効果が高い宿泊利用の増大も期待できる。このことにより、京都との観光面での運動性が強まれば、わが国のインバウンドのさらなる振興にも効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標に向けて一定の効果はあると認められ、事業実施の可能性も高いが、来訪客数を50%向上させるほどの効果は認められない。特に、この地域に求められているのは滞在型観光への移行であるが、相当に革新的な内容がないとその効果は期待できない。特区制度の活用という点で先駆性があるが、事業内容は従来型の延長にとどまっており、滞在して楽しむための魅力を高めることをさらに考える必要がある。 公共が推進する箇所は良いが、各宿泊施設の取り組みが左右すると想像される。民間の更なる行動力に期待したい。 政策目標とする「世界に誇れる公園」を達成するためには、外国人観光客の受け入れの取り組みについて、日本人観光客と同等、あるいはそれ以上の取り組みが必要と思う。日本人観光客に対する施策がそのまま活用できるものも多いと思う。 観光入り込み客数の増加目標は良いとして、宿泊者数の数値目標達成のためには、本取組に記載されている宿泊施設の改修支援等では十分とは言えない。さらに先駆的なものでもない。この点、本取組において記載されている「宿泊施設における旅行商品の企画・販売」など、「奈良市への宿泊を必ず伴う」旅行商品開発の工夫を行うことにより、取組が有効かつ先駆的なものとなる。そのためにも、前述のとおり「社寺との連携」による取組を工夫して良い。また、「数値目標」について、外国人・日本人観光客の来訪満足度・宿泊観光客の利用満足度が設定されて然るべきである。現状、数値として捉えられていないから指標に設定されていないのであろうが、ここは検討の余地がある。 	C (2)	B (3)	C (2)	○
地域	9	千年の草原の継承と創造的活用総合特区	熊本県阿蘇市、南小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町	観光立国・地域活性化(観光)／観光立国・地域活性化(農林水産業)	19	C (2.20)	C (2.20)	B (3.40)	C (2.40)	B (2.80)	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇は、国内外からの九州観光の核心的な地域であり、この取り組みによって持続性が担保されることは、九州のみならず、我が国全体にとっての意味も大きい 観光振興の観点では、目標に「質を変え、活性化に結び付ける」とあるが、具体的にどのような変化を目指しているのか？ いわゆる「観光の6次産業化」、「農業の6次産業化」の取り組みとして期待できる。 国際レベルでは、阿蘇の草原は先にも述べたとおり、わが国が世界に誇る資源であり、その適切な維持・管理、そして活用を図ることによって「国際レベルでの競争優位性を持ち得る観光拠点」形成に資するものである。そのことは、ひいてはわが国のインバウンド振興に寄与するものとなる。そういう意味では、国際観光利用に十分対応し得る多言語による草原案内システム、草原維持・管理システムに関わる体験メニュー、草原観光・学習ツアー等の開発に向けた取組が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成の蓋然性は高く、これまでにない方法によって問題の解決を目指しており、先駆的であるとともに実現可能性は高いと考えている 草原維持保全による観光の観点での、達成したい目標は？ 滞在型観光を増やすには、時間消費ができるメニューが必要。その意味で地域資源を利用した多様な取り組みがされているが、それをどこでどのようにして消費者が知り、実際に申し込みをしてくれるか、ということは、同時に非常に重要。その取り組みが知らなければ、誰も申込みできない。 したがって、観光案内所や宿泊施設などでの情報整備も重要。観光事業のシステムをうまく活用するスキームも埋め込みたい。 これに関しては、先駆性について、いかなる「切り口」から評価するかが問題であるが、自然と生活・産業の営みから構成される「複合的な観光資源」の保全、維持・管理の仕組みづくり、多様な主体の参画と「新しい公」による事業構築という点で、本取組は十分に「先駆性」を有するものとして評価できる。また、申請書に記載されている「関係者の合意の状況」を踏まえれば、熟度は十分に高く、実現可能性に期待が持てる。ただし、「野焼き再開牧野数」を初めとする目標数値の達成については「PDCA」の導入により着実に検証しながら取り組んでいく必要がある。 	C (2)	D (1)	B (3)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：観光立国・地域活性化（農林水産業）

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計 点数	1. 専門家評価					⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に相当程度寄与することが見込まれるか	⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリン グ 対象
						①包括 的・戦略 的な政策 課題の設 定	②包括 的・戦略 的・整合 的な解決 策の設定	③地域資 源等の存 在	④先駆性	⑤熟度			(1)総合 特区によ り実現を 図る目標 の提案	(3)地域 の責任あ る関与 ①～⑤	(4)明確 な運営母 体 ②	
地域	9	千年の草原の継承と創造的活用総合特区	熊本県阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町	観光立国・地域活性化(観光) / 観光立国・地域活性化(農林水産業)	23	A (3.50)	A (3.50)	A (4.00)	B (2.75)	B (3.25)	<ul style="list-style-type: none"> この目標が達成されることは地域にとつてのみならず貴重な自然資源・文化の維持という点からも意義がある。ジオツーリズムの創成と自然環境保護のためのルール作りができれば、世界遺産登録をめざす他地域にも適用可能となる。 阿蘇山は海外(中国)でも知られている観光資源なので、外国人旅行者の増加に繋がることが期待される。 本課題の解決の成功は、自然環境の維持とその地域の資源を利用した産業との調和を図ることの手本として、同じような問題や意識の地域への貢献がある。オールタナティブなものとしても自然環境を維持していくことは、日本の活力向上の力になると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境的・文化的価値のある草原を維持するにとどまらず、生産基盤・観光資源としても活用することで地域の持続可能性をも確保するという包括的な提案である。 実現可能性は高い。ただし、人間の手が入る自然を北米系の人たちがどのように評価するかは気になるところではある。 提示された解決策による目標達成の蓋然性は、本課題設定の熟度からも、高いものと考えられる。また、多くの参加市町村が特区という一つの塊になることで、課題解決の力となりうるものと考えられる。 	C (2)	D (1)	B (3)	○

1次・2次評価結果

地域活性化総合特別区域

専門分野：まちづくり等

【確認事項】

- ・掲載順序は評価結果（合計得点）の順としています。
- ・ヒアリング対象外は別紙にて、団体数のみ公表しています。
- ・専門家評価得点は **20点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）
（各項目の判定の下部に専門家委員の評価の平均点を記載しています。判定は当該数値の小数点第1位を四捨五入した数値を基にA～Dを表記しています。）
- ・事務局評価得点は **12点満点** となります。（A=4点、B=3点、C=2点、D=1点）

専門家評価・事務局評価において ヒアリング対象として推薦されたもの

区分	No.	名称	提出自治体	専門分野	合計 点数	1. 専門家評価					⑥目標の達成が我が国の経済社会の活力の向上及び持続的発展に 相当程度寄与することが見込まれるか	⑦事業実施による目標達成の蓋然性が相当程度高く、当該事 業を含む取組が政策課題の解決に相当程度有効かつ先駆的 で実現可能性が高いものか	2. 事務局評価			ヒアリン グ 対象
						①包括 的・戦略 的な政策 課題の 設定	②包括 的・戦略 的・整合 的な解 決策の 設定	③地域 資源等 の存在	④先駆 性	⑤熟度			(1) 総 合特区 により実 現を図る 目標の 提案	(3) 地 域の責 任ある 関与 ①～⑤	(4) 明 確な運 営母体 ②	
地域	8	周南コンビナート国際競争力基 盤(電力・港湾)強化総合特区	山口県周南市	グリーン・イノ ベーション(環 境・エネルギー 大国)／アジア 拠点化、国際 物流 / まちづく り等	18.75	B (2.50)	B (2.50)	B (2.75)	C (2.00)	C (2.00)	<p>・電解コンビナートの国際競争力の維持は、我が国経済に相当程度寄与する。また、まちづくりに関する目標も、もしそれが実現できれば、他のいわゆる重厚長大装置型産業の立地する地域の活性化のモデルになり得る。</p> <p>・日本国内において、工業政策の強化は重要な課題である。本申請は、生産コスト、流通環境に係る課題への直接的な政策提言であるため、当該地域の産業維持が見込まれる。しかしながら、長期的観点に立った場合、他国との競合関係はさらに厳しさを増す可能性が考えられるため、さらに地域全体を見回したうえで特区化を図るための政策課題の提示が求められる。</p> <p>本事業で気になる点は、現状においても国内でトップクラスである工業地帯である同地域においても、人口減少・中心市街地の衰退など、他地域も抱える地域課題が見られる点である。これは地域産業の振興や雇用改善のみでは解決しがたい課題があるものと思われる。今回の申請ではこれに関しての言及が少なかったため、今後の周南地域の振興を踏まえて、さらに包括的な地域産業政策の提示を望みたい。</p> <p>・旧来型の産業について、港湾、電力等のインフラストラクチャーを改善することにより、国際競争力の維持、強化を図ろうとする点は、ある意味でわが国経済の根本問題に挑戦している点で評価できる。</p> <p>・電気事業法の規制緩和が成るならば、経済社会に及ぼす影響は極めて大きいと考える。一方で申請内容はほぼエネルギー対応に関するものであり、評価担当者(私)が受け持つ「まちづくり」の視点は極めて比重が低い。「中心市街地での起業」(p.18中下)といった記述も見えるが、まち中でのどのような活動内容を想定しているのかそもそも不明である。</p> <p>いずれにせよ、全体の評価は国がここで提案されている電気事業法の規制緩和を認めるかどうかにかかっており、この申請者側の評価がキーではなく、規制省庁側の姿勢がむしろ問われているといえる。電気事業法の規制緩和につながるならぜひ実施すべきであり、そうでないなら、単なる衰退地域に無駄金を垂れ流すことになる可能性が高い。前者となることを期待したい。</p>	<p>・まちづくりの分野のみに限って言えば、その位置づけが副次的であるため事業の具体性が乏しく、目標達成の蓋然性が高いとはいえない。したがって、本特区の取り組みが政策課題の解決につながるかどうかについても明らかでない。</p> <p>・事業実施による目標達成は、提案する特例措置により、実現可能性があると思われる。しかしながら、経済政策と環境政策との折衝などの面で困難性が伴うと思われる。</p> <p>・港湾の機能強化、企業にとっての事業環境の改善、さらに具体的にはエネルギーの地域的ミックスを最適化する等の点は、十分に蓋然性が高いものと思料するが、資源調達を含めた一次エネルギーのコスト削減がどの程度現実的かについては、若干の懸念を持つ。</p> <p>・本申請に関係する政府の部署が、ここで提案されている電気事業法の規制緩和に賛同するかどうかによくを依っている。</p>	B (3)	C (2)	C (2)	○

○ 専門家評価・事務局評価においてヒアリング対象外とされたもの

国際戦略総合特別区域 0 団体

地域活性化総合特別区域 3 団体 ※全て政策分野の重複有り

地域活性化総合特別区域の専門分野別内訳は以下のとおり

【グリーン・イノベーション（環境・エネルギー大国）】	0 団体
【ライフ・イノベーション（健康大国）】	2 団体
【アジア拠点化・国際物流】	0 団体
【観光立国・地域活性化（観光等）】	1 団体
【観光立国・地域活性化（農林水産業）】	3 団体
【まちづくり等】	0 団体

○ 事務局評価等により足切りの対象となった団体 無し